農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が開催される

1月28日（火）秋田県庁第二庁舎8階大会議室にて、農業農村整備に関する説明会（予算キャラバン）が行われた。キャラバンには、県内全域の土地改良区の役職員、市町村担当者、秋田県農業公社職員など多数の関係者が参加し、本会からも髙貝会長他役職員6名が出席した。

▲会場の様子

開会に当たり、秋田県農林水産部参事（兼）農山村振興課長の髙野尚紀氏より「国の概算決定において、令和元年度補正、令和2年度当初、臨時・特別の措置を合わせ、6,515億円の予算を確保することができた。これも関係者の皆様が、地域の実情や農業農村整備事業の重要性を多方面に発信していただいたからこそであり、改めて感謝申し上げる。県でも令和2年度予算編成作業が進んでおり、複合型生産構造への転換に向けたあきた型ほ場整備や農村地域の国土強靭化、水利施設等の長寿命化対策を重点施策として実施することとしている。引き続き、皆様の御支援と御協力をお願いしたい」と挨拶された。

▲髙野尚紀　参事（兼）農山村振興課長

続いて農林水産省農村振興局整備部設計課企画官の花田潤也氏より「日頃より、皆様には、農業農村整備事業の推進に御尽力いただき深くお礼申し上げる。これらの予算を活用し、令和2年度も農業の競争力強化と農村地域の国土強靭化をしっかり推進していかなければいけないと考えている。また、関係者の皆様の要望に応えられるよう、各地域において事業を進めていく必要がある。予算の確実な執行と事業の推進に、引き続き皆様の御協力をお願い申し上げる。令和3年度予算においては厳しい状況となることが想定される。また、食料・農業・農村の基本計画は、令和3年度に計画の見直しがあり、来年度はとても重要な年となる。現場の声を踏まえ、これからの農業農村の課題に対応できる計画としていきたいと考えている」と挨拶があった。

▲髙貝会長

本会髙貝会長も「令和元年度補正予算が1,542億円確保された。補正予算は、当初予算で足りない部分を補填するものであり、これを確保していただいたことに改めてお礼申し上げる。令和2年度当初予算においても、4,433億円が確保された。概ね全国の要望をカバーできるものと認識しているが、これも関係の皆様が地元の声を届けていただいた結果であり、改めて感謝申し上げる。今年度は積雪が非常に少なく、春の水不足が心配されるが、大きな問題とならないよう願うばかりである。本日の説明会を、皆様にとって有意義なものとし、それを地元での農業農村整備の推進に活かしていただきたい」と挨拶された。

その後、令和2年度予算概算決定の概要及び個別事業の説明、質疑応答が行われた。

令和元年度

土地改良区体制強化事業

土地改良区体制強化事業に関連した令和元年度秋田県管理運営体制強化委員会並びに、秋田県受益農地管理強化委員会については、3月中旬に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、委員会の開催は見送り、書面による審議が行われました。

各委員会資料から、令和元年度の主な事業実施状況についてご報告いたします。

○秋田県管理運営体制強化委員会（施設・財務管理強化対策事業）

1．土地改良施設の診断・管理指導

・土地改良施設の管理指導業務実施状況

区　分		指導土地改良区等数　（単位：団体）					指導施設数　（単位：ヵ所）								診断日数
		土地改良区	市町村	農協	水利組合等	計	ダム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	水路	その他	計	
定期診断指導		40	2	0	0	42	6	16	53	2	22	0	1	(100) 100	34
要請診断指導	定期対象	7	1	0	0	8	1	1	5	0	1	0	0	8	4
	定期対象外	11	2	0	0	13	0	2	5	0	2	16	0	25	13
計		58	5	0	0	63	7	19	63	2	25	16	1	(130) 133	(49) 51

※上段に（　）書きで計画、下段は実績を記載している。
※要請診断で定期対象と定期対象外の両方を実施している団体数は定期で計上している。

2．土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策（土地連対応分）

◇相談件数　　22件
◇処理内容　　弁護士2件、内部処理20件
◇依頼人　　土地改良区21件、市町村1件
◇相談事例　　・差し押さえの手続きについて　・未収賦課金の処理方法について
　　・相続財産管理人の選任申立について　　他

3．財務管理強化に関する指導等

(1) 複式簿記会計に関する巡回指導

	土地改良区（連合）	現地指導回数（延べ）	現地指導実施者（人）				備　考
			会計指導員	会計の専門家	地方連合会	合　計	
計	30 土地改良区 1 土地改良区連合	70	119	0	19	138	

(2) 会計の専門家の配置

◇専門家の配置　　税理士1名
◇相談対応　　複式簿記会計の導入に関する事項（7件）

(3) 財務管理強化相談業務

ア．相談窓口の開設　　相談件数20件　　・複式簿記会計の導入
　　・その他の会計経理の課題　　など

イ．会計指導員による指導監査等

・農業基盤整備促進事業に関する外部監査　－　2土地改良区で実施
・「会計指導員」認定試験　－　土地連職員2名合格

(4) 監査実務等向上研修

開催月日	開催場所	講義内容		講義内容					備　考
		課目	時間数	土地改良区	土地改良事業団体連合会	都道府県	市町村	その他	
R1.11.6	大曲地域職業訓練センター（大仙市）	①～③	120分	61	4	4			
R1.11.8	能代山本広域交流センター（能代市）	①～③	120分	79	4	6			
R1.11.11	秋田テルサ（秋田市）	①～③	120分	86	4	12			
		計		226	12	22	0	0	260

〔講義内容：課目〕 ①複式簿記会計のポイント　②土地改良区監事の職務と監査　③土地改良区の指導監査に関する情報提供

○秋田県受益農地管理強化員会（受益農地管理強化対策事業）

1．換地選定手法指導

新規事業開始の地区に対して、換地業務の仕組みや換地設計基準・評価基準の作成指導を実施。また、2年目の地区に対しては換地計画原案作成のための換地選定に関する指導を行う。

・換地技術者指導員　　4名　（内土地連4名）
・指導地区数　　17地区（面積2,364.8ha）

2．財務管理制度活用等推進・個別地区指導

(1) 普及・啓発活動

・普及啓発活動地区　4地区
・関係団体　　仙北市、二ツ井白神土地改良区、秋田県能代地区土地改良区、三種町土地改良区
・関係面積（戸数）　337ha（582戸）

(2) 制度活用指導

・制度活用地区　　1地区（換地処分）
・関係団体　　秋田県西仙北土地改良区
・関係戸数　　186戸

3．研修会の開催

	研修の種類	研修の課目	開催日程	開催日数	開催地	研修対象者	参加人数
①	換地委員等実務研修	換地と換地委員の役割について	R1.7.30	1日	秋田市	土地改良区役職員・事業推進委員　他	153人
②	換地計画実務研修	換地計画書の構成について	R1.12.12	1日	秋田市	土地改良区役職員・換地処分事務従事者　他	90人

4．換地事務量総括表

区分	項目／種別	地区面積（ha）	計画原案（ha）	計画書作成（ha）	計画決定（ha）	換地処分（ha）	確定測量（ha）
県営	ほ場整備事業	49工区 7,766.9	5工区 1,033.9	2工区 187.9	5工区 327.8	5工区 327.8	6工区 746.9
	公特事業	1工区 37.1			1工区 37.1	1工区 37.1	
	機構関連事業	6工区 147.2	2工区 57.3				
	合　計	56工区 7,951.2	7工区 1,091.2	2工区 187.9	6工区 364.9	6工区 364.9	6工区 746.9

令和元年度秋田県土地改良区

統合整備推進協議会

3月11日(水)令和元年度秋田県土地改良区統合整備推進協議会が開催された。当日は10名の委員(内、代理出席1名)と3名の幹事の出席により会議が行われた。

冒頭、本会会長である髙貝委員長から「土地改良法が大幅に改正され、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業や農業用水利施設の耐震化を図る制度が創設され、県においても制度を積極的に活用し事業推進していくと聞いている。こうした事業推進をしていくためには、土地改良施設の管理主体であり、また、地元の意見・要望など調整役である土地改良区が重要な役割を担っている。また土地改良区が担う役割も多様化している一方で高齢化による組合員の減少など土地改良区の取り巻く環境は大きく変化している。こうした中で関係機関と適切な連携や組合員そして地域の要請に応えていくためには統合整備により、事務局体制の充実を図り維持管理や運営経費の節減等の合理化を進め盤石な業務運営体制を構築することが重要である。こうしたことから引き続き統合整備を積極的に推進していくことが重要である」との挨拶がされた。

議事に入り、本年度の事業として、5地区の協議会・研究会に委員・幹事として出席し指導・助言を行ったことや、1地区に研究会助成金、1地区に合併地区運営費助成金を支出したなどの説明が行われた。次に来年度の事業計画案として、各地区の協議会・研究会に委員・幹事として出席し指導・助言を行うことや、1地区に研究会助成金を支出予定である等の説明がなされた。いずれの議案についても出席委員全員の賛成により議決された。

議事の後、県農地整備課舛谷課長からは来年度の土地改良区の統合整備に向けた県の取組などについて情報提供があり、活発な意見交換の後、委員会を終了した。

【秋田県の土地改良区統合整備推進状況】

令和2年3月11日現在

No	組　織　名	関係土地改良区名	土地改良区数	備　　考
(合併推進協議会)				
1	雄和中央・豊岩小山地区 土地改良区統合整備協議会	雄和中央 秋田市豊岩小山	2	H30.7.2協議会設立 R2.1.29合併認可 参考面積1,041ha
2	山城水系土地改良区 統合整備推進協議会	山城水系 大森	2	R1.8.28協議会設立 参考面積1,449ha
3	湯沢雄勝地区土地改良区 統合整備推進協議会	雄勝郡山田五ヶ村堰 湯沢市中央　稲川 羽後町	4	H30.11.7協議会設立 参考面積1,449ha
(合併研究会)				
4	新城川、天王、昭和地区土地 改良区統合整備研究会	新城川　潟上市天王 昭和	3	H28.12.22研究会設立 参考面積4,505ha
5	秋田市土地改良区統合整備 研究会	仁井田堰　河辺郡芝野堰 秋田市豊岩中央　左手子　雄和 秋田市旭川筋　雄和中央 秋田市孫左衛門堰　河辺 秋田市上北手猿田　秋田市上新城 秋田市上北手小山田　新城川	13	R元.10.25研究会設立 参考面積7,122ha

令和元年12月設立

あきた水土里ネット女性の会

秋田県土地改良事業団体職員会の女性会員が、研修や情報ネットワークの確立、交流等を図りながら、農業農村整備事業並びに土地改良区の運営や活動への参画の機会を通じて、意識の高揚と女性の活躍の推進に寄与することを目的に、令和元年12月に「あきた水土里ネット女性の会」が設立された。

今後は、講演会や研修会の開催、会員相互の情報ネットワークの確立を図る活動、会員の資質向上を図る活動、他の女性団体(グループ)との交流、女性の活躍を推進するための活動等を計画している。

設立会議では、会長1名、副会長3名の選任も行われ、会長には根本由紀子さん(かづの土地改良区)が選出された。

▲水土里ネット秋田で開催された設立会議